

人は霊止(ヒト)、霊体と肉体が合体した存在

人は霊止(ヒト)、「体」である肉体に「霊」である魂が宿っている存在です。ですから「人」の字を字割すると右図のように解読できるのです。

「何事も表裏一体」、表があれば裏があります。人も表の面の肉体と、裏の面の魂によって成り立っているのです。

ところが現代人の多くは、目に見える物質面の肉体こそが自分であり、目に見えない霊的な側面を無視して生きているようです。それゆえに人間はいろいろな面で錯誤と混乱を生じ、苦勞や悩みに直面しているのです。

西洋医学と東洋医学は真逆の治療方法をとっている

この「表」の肉体面のみを捉えて治療しているのが西洋医学ではないでしょうか？西洋医学は人間を物質的視点から捉え、病の原因を追究し治療法を探究しています。身体を部分化し細分化して追求してゆきます。内科、外科、胃腸科、呼吸器科、脳外科、心臓外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・・・などなど、専門科医によって治療するシステムがとられています。目に見えない霊性とか生命力とかを軽視した治療が行われているのです。

一方、東洋医学は目に見えない生命精神・霊的な面を探究して、人間の生命力を総合的に引き上げる治療法がとられているようです。

今日では、この医学上の矛盾と限界に気付かれた一部の医学者達の間で、東西両医学を融合させ統合させた精神身体医学というものが開発され広まりつつあるようです。

時代は物心調和、霊主体従の時代を迎えている

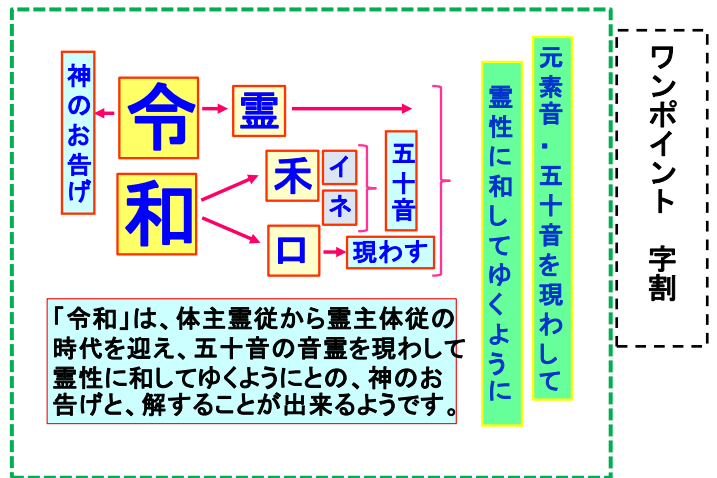
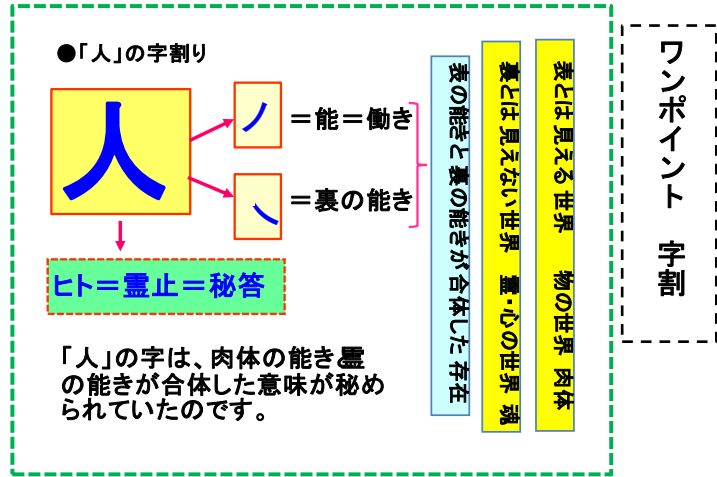
この東西両医学の融合に見られるように、時代は精神面と物質面を融合させ統合させる方向へと進んでいるのです。このことを象徴的に現わしているのが「霊性に和す」の深意を持つ「令和」の年号ではないでしょうか。このことを精神世界では「体主霊従から霊主体従」への転換、「立替立直しの時代の到来」と言っているのです。

過去三千年の人類の歴史は、物・金・エゴ中心の生き方でありました。有限の地球三次元の世界で人類は物や富や領土を奪い合う、弱肉強食の抗争や戦争に明け暮れてきたのです。もし、このまま物質や経済中心の我善の生き方で進んだなら、無数の核兵器やミサイルを保持している時代ですから、人類は間違いなく滅亡へ向かうことは明らかでありましょう。

したがって、現下の物心のアンバランスによって生じている地球人類の危機と混迷を解決するには、今日の高度に進んだ物質科学に匹敵する高度の精神科学性を有した哲理が必要になってくるのです。

現代人に求められる「言葉の本質」への覚醒

では、そのような物質科学に対応できる精神科学性を有したのでしょうか？唯物的な考に走る多くの現代人は理解に苦しむかもしれませんが、この終末的で未曾有の危機に直面している現代、幸いなことに宇宙の大いなるご意図によって、人類の救いの道が開かれているのです。以下、その救いの道への話を展開させていただくことにいたします。



<光透波理論>の全貌 ヒカルランド系列「ともはつよし社」から発売中。著者、宿谷直晃

購入希望者は syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037 宿谷まで

新約聖書のヨハネ福音書に「初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった」と書かれています。また、ギリシャの哲学者・アリストテレスは「人間は言葉の動物である」と喝破しています。

遠くギリシャの都市国家時代やローマ時代に「コトバが神である・・・」「人間の人間たる所以はコトバにある・・・」と説



岡本天明

日月神示
 神は言波ぞ。
 言波とはマコトぞ。
 息吹ぞ。道ぞ。
 マコトとはマツリ 合わせた息吹ぞ……

かれていたのです。また近年ではスピリチュアルの人々の間で世界的な預言書の一つと評されている日月神示に「神は言波ぞ」の啓示があります。これらの箴言や霊言は、人間にとって言葉が決定的に重要なものであることを物語っています。

ところが現代人の多くは言葉の本質に気付かず、言葉とは何か？について殆ど考えようともしていません。そして情けないことに言葉を道具の一つのように錯覚し、嘘や偽りの言葉、さらに破壊的、暴力的な言葉を乱発して、言葉を貶め、心を乱し、波動を乱し、同時に世の混乱を招いているのです。

言葉が無ければ、人は意思も持てず、ただの動物に

近代哲学の祖ともいえるデカルトは「我思う故に我あり」と有名な言葉を残しています。では何故に「思う」ことができるのでしょうか？もし、言葉がなければ「思うこと」も出来ないはずで

す。認識するすべての事象には名がついています。小は原子・素粒子の世界から大は宇宙・銀河系の星々に至るまで、人間が認知しているもので名が付いていないものは何一つありません。

名＝言葉であり、その名の組み合わせによって、人は物事を識別し認識し思考し、欲望を膨らませ、想像し、意識し、その意識の高まりによって人類は文化文明を生み出しているのです。言葉が無ければ人は何一つ創造することが出来ない、ただの動物に過ぎない存在に陥ってしまうのです。当然、デカルトのように「我思う」ことも出来ず。アリストテレスが指摘するように「人間は人間たる根拠を失う」ことになってしまうのです。

言葉→音→波動、波動によって万物は生み出されている

視点を変えて考えて見ましょう。言葉、それは音ですね。音は波動。人間の可聴範囲の音は1秒間に20ヘルツから2万ヘルツの振動数と言われています。それが1秒間に3千ヘルツから3兆ヘルツの範囲の振動数になると各種の電波になり、そして3兆ヘルツ以上の振動数になると各種の光に変わってゆく。さらに3京ヘルツ以上になると、放射能域の振動数になってゆくとされています。

このことから、音・電波・光・放射能、これらはすべて振動によって生じています。表現を変えれば波動によって成り立っており、周波数の多寡によって性質を違えていると言えるようです。

現代科学では、一切のものは波動によって成り立っていることが証明されています。したがって「音」＝「言葉」を広義に「波動」と解しますと、先に掲げた聖書の「初めに言（＝波動）があった・・・言（波動）は神であった・・・万物は言（波動）によって成った・・・」の意味に置き換えられ、科学的にも抵抗なく理解できてくるのです。

言霊の国・日本に、霊主体従の時代の道標が生まれる

以上、言葉の本質について解説してきましたように、言葉は波動であり、その波動によって創造主は人間はもとより宇宙万

音とは何でしょうか

音とは振動＝波動です

音 → 20Hz～2万Hz

電波 → 3千～3兆Hz

光 → 3兆Hz以上

放射能 → 3京Hz以上

周波数の違いで性質が変わるようになる。

ワンポイント
 字割

「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
 お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

物を生み出されているのです。

ですから、波動を左右する言葉を活用して言葉を善用するか否かによって、人類の行く末えが決まってくるのです。言葉を善用することによって物心調和の道が拓かれてゆくのです。危機に直面した世界人類の救いの道は、言葉の奥に脈打つ波動の活用が不可欠であり、言葉の奥に脈打つ真理に目覚めることが求められているのです。

「謎」という字は「言」+「迷」、 「言（ことば）」に「迷」うと書かれています。言葉の「迷い」を解けば「謎」は解消するのです。全ての謎のうち最高の謎こそ宇宙の真理ではないでしょうか？

光透波は「見える言葉＝文字」の奥に脈動する哲理を読み解き宇宙の真理を学ぶ思考様式であり、その字割思考法は精神科学性を有しているのです。これから迎える霊主体従の精神性豊かな時代への道標、指導理法なのです。（宿谷）

7月 光透波セミナーのご案内

● 「ワクワク光透波塾」 (第122回 光透波セミナー)

- 日 時 7月19日(月＝祝日) PM1:30～PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 D (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「神一厘の仕組み救いの道、エネルギーの話」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1) 4分
- 講 師 宿谷直晃 ● 参加費 3,000円

● 「Zoom 光の言葉塾」

- 開催日時 7月10日(土) AM 10:00～ PM 0:00
- 7月17日(土) PM 8:00～ PM 10:00

- 演 題 「コロナ、ワクチン、危機噴出の時代を乗り越える道」
- 参加費 無料 (賛助金はお受けします)

● 「Zoom 入門講座」

- 7月12日(月) PM 8:00～PM10:30 入門講座
- 講 師 宿谷直晃 ● 参加費 3,000円
- ※Zoom 講座の申し込み先 syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

※折り返しレジュメを送らせていただき、Zoom接続の方法をお知らせいたします。

● 名古屋 命波学講座

- 日 時 7月 1日(木) AM11:00～PM4:00 基礎講座 第7回
- 日 時 7月 5日(月) AM10:00～PM1:00 中級講座 第6回
- 日 時 7月 7日(水) AM10:00～PM1:00 和やか会
- 日 時 7月15日(木) AM11:00～PM4:00 基礎講座 第8回
- 日 時 7月18日(日) AM10:00～PM1:00 和やか会
- 日 時 7月24日(土) PM 1:00～PM4:00 基礎講座 第13回 豊橋市教室
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201 ● 参加費 各3,000円
- 講 師 堀尾君子

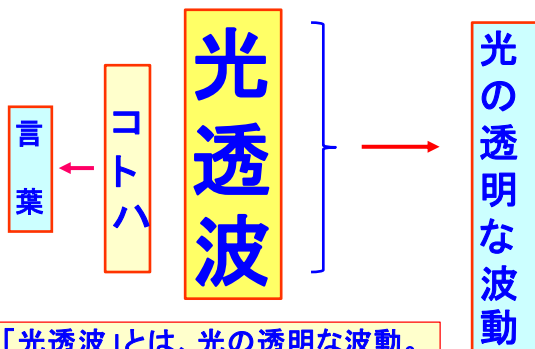
※命波学受講希望の方は、日時調整しますので、お問合せください。090-8499-5989

※ お知らせ

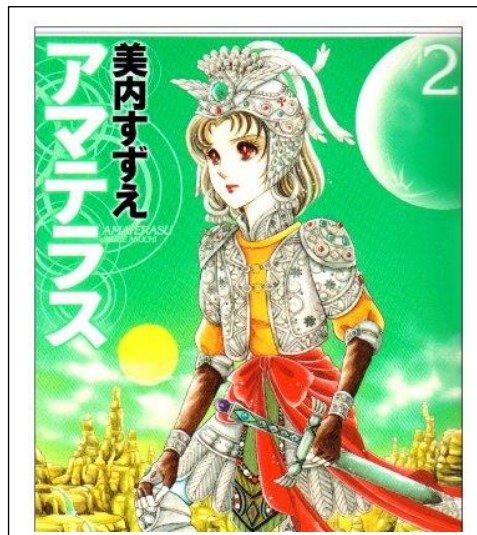
磯部賢一先生の光透波塾講座はリニアルにつき、7月・8月は休講いたします。

光透波の参考資料の紹介

三十年程前、美内すずえ氏の作品です。



「光透波」とは、光の透明な波動。
それは「コトハ」→「言葉」の究極の
エネルギーと解せます。



“人(ひと)は霊止(ヒト)なり。神の霊(ヒ)が、肉体に止まりしものぞ。よって、霊止(ヒト)は光透波(ことば)を使うことができるのじゃ”

“人と神が繋がっていた頃、『言葉』は『光透波』だったのじゃ。今は言葉は思いを伝える道具でしかない。光透波は、それを使う者の霊(ヒ)が宿り、よって神の光透波(コトハ)となる”

光透波の会

實光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp

堀尾 君子

090-8499-5989

光透波塾 名古屋市熱田区旗屋2-16-4

メールアドレス isobekk50@yahoo.co.jp

磯部 賢一

090-9199-0248

東京光透波の会 東京都品川区小山6-19-5

メールアドレス syu98-8do8@mbr.nifty.com

宿谷 直晃

090-2447-2037

事務局 ホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>